

学年・教科等で育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質能力	具体的取組
1 年	◆自分のことは自分で 行う力 ◆進んで行う力	○学習や生活の場面で、自分がすべきことがわかり、見通しがもてるようにするために、分かりやすく短い言葉で指示を出したり掲示をしたりする。 ○友達やいろいろな人と関わり、自分の想いや気づきを話したり、相手の話を聞いたりすることで、相手の気持ちを考えられるようにする。
	◆社会生活の中で協調 する力 ◆問題を発見する力 ◆問題を理解する力	○人との関わりを軸として活動することで、相手と自分の違いや共通する事柄を認めたり、受け入れたりすることができるようにする。 ○経験値をもとにして考え気づきや疑問をもち、課題を設定して行うことができるようにする。 ○具体物を活用したり、視覚化を重視したりして課題の意味や学習の進め方を理解し、問題解決の見通しをもつことができるようにする。
3 年	◆自分で決める力 ◆粘り強く学習に取り 組む力 ◆自分の考えを表現す る力 ◆相手の話を聞こうと する力	○学習の場面で課題解決の方法を自分で決めたり、自分で選んだりすることができるようにしていくとともに、様々な表現方法を認め、発信していけるような授業を設定する。 ○学習内容に地域の見学を取り入れ、自分たちが地域の一員であるとともに、地域のことをより理解したいという意欲を高めていけるようにする。 ○段階的な指導内容を計画し、一人ひとりのできた場面を見取り、称賛することで繰り返し学習に取り組む力を育む。
	◆地域を理解する力 ◆行動を選択する力	○各教科の学習の中で自分の考えを表現したり、友達の話の聞いたりし、考えや思いを受け止める大切さを実感できるようにする。 ○総合的な学習や社会科の学習をする中で、地域の特徴やよさを理解できるようにする。 ○係活動や体験学習等を通し、活動内容を子どもたちが考えて行動を選択し、協働的に行動する力を身につけるようにする。
5 年	◆協働的に行動する力 ◆自己を理解する力 ◆他者の考えや思いを受 け止める力	○自分の考えをもつとともに、発信し友達の考えとの相違を考えることを通して自分自身が変わっていきけるような手立てを意図的に取り入れていく。 ○体験活動やグループ活動を充実させ、そこで得た情報の取捨選択を自己の力で判断し、行動できるよう意識づけしていく。 ○たて割り活動や委員会活動等、集団の中での活動や、日記や面談を活用した担任とのかかわりを通して、自分のよさや成長を実感できるようにする。
	◆つながりを考え、合意 形成する姿勢 ◆夢や目標をもち、生き 方を追求する姿勢	○各教科・特別活動・行事等、教育活動全体を通して、個や全体の課題を発見し、解決する手立てを子どもが選択できるようにする。 ○各教科で学び、獲得した力を意図的に他教科との関連を図りながら問題解決につながる思考をでもてるようにする。 ○総合的な学習の時間や道徳、Y I C Aの充実を図り、それぞれの生き方、考え方、自分が社会の中にいるということを自覚し、自分の力をどのように生かしていきたいか考えられるようにする。
個 別 支 援 学 級	◆基本的な生活習慣をつ くる態度 ◆意思決定する力 ◆自分の考えを表現する 力	○あいさつ、返事、手洗い、時間を守るなど、基本的な生活習慣を身に付け、自分のことは自分でできるように、声かけや支援をしていく。 ○本人のやる気を引き出し、わかった、できたを実感できるよう、具体物を活用したり、視覚化を重視したりして、興味や関心をもって取り組めるようにする。 ○自分のやりたいことや意思・意見を伝える機会を多くし、成功体験をたくさん味わえるようにする。

